

平成 24 年 3 月 6 日

各 位

会 社 名 ゼネラルパッカー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 梅森 輝信  
(コード：6267 大証JASDAQ・名証第二部)  
問い合わせ先 常務取締役管理部長 小関 幸太郎  
電 話 番 号 0568(23)3111(代表)

## 平成 24 年 7 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 7 月期第 2 四半期累計期間(平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日)の業績予想について、平成 23 年 12 月 5 日付当社「平成 24 年 7 月期第 1 四半期決算短信[日本基準](非連結)」にて発表いたしました業績予想と本日公表の実績に差異が発生しましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 7 月期通期(平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 7 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 24 年 7 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績の差異について

##### (1) 第 2 四半期累計期間(平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 23 年 12 月 5 日発表)	百万円 2,000	百万円 69	百万円 70	百万円 41	円 銭 4.73
今回修正予想(B)	1,995	40	43	20	2.38
増減額(B-A)	△4	△28	△26	△20	—
増減率(%)	△0.2	△41.3	△38.1	△49.6	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 7 月期第 2 四半期)	1,759	59	63	38	4.34

##### (2) 差異の発生理由

売上高につきましては、保守消耗部品の売上が計画を上回りましたが、機械の販売台数が計画を下回るとともに、一部案件で売上時期のズレが発生したことから、前回発表予想を 4 百万円下回る結果となりました。

利益面につきましては、高額案件で想定より低い粗利実績が複数発生したことなどにより、売上総利益は計画より 34 百万円減少しました。また、販売費及び一般管理費は、積極的な戦略的予算支出を実施してきたことから、経費の削減に努めたものの、計画より 6 百万円の減少に留まりました。

以上のことから、営業利益は、前回発表予想より 28 百万円減少し、経常利益は、前回発表予想より 26 百万円減少する結果となりました。

四半期純利益につきましては、経常利益が減少したことから、税金費用の調整の結果、前回発表予想より 20 百万円減少し、20 百万円となりました。

## 2. 平成 24 年 7 月期通期業績予想の修正について

### (1) 通期（平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 7 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成 23 年 12 月 5 日発表）	百万円 4,200	百万円 168	百万円 170	百万円 100	円 銭 11.41
今回修正予想（B）	3,800	56	60	30	3.40
増 減 額（B－A）	△400	△112	△110	△70	－
増 減 率（％）	△9.5	△66.7	△64.7	△70.0	－
（ご参考）前期実績 （平成 23 年 7 月期）	3,937	225	232	138	15.83

### (2) 修正理由

当社は、受注環境は厳しい状況が続いているなかで、新たなマーケットの開拓や商品開発の強化などに取り組んでおります。

需要動向につきましては、新規開発案件及び次期売上予定の高額案件の受注活動は好調に推移している一方で、顧客企業の設備投資計画の見直しなどもあり、当期に売上可能な案件の国内需要が想定より大きく落ち込んできている状況であります。

また、海外市場向けの売上高の増収を計画しておりましたが、東南アジア市場向けは順調なもの、ドライペットフード向けが、顧客企業の設備投資計画の延期や円高の影響もあり、計画を下回る見通しとなりました。

この結果、通期売上高予想につきましては、第 3 四半期以降の売上高が計画を大幅に下回ることに伴い、前回発表予想より 400 百万円減少する見通しとなったことから、3,800 百万円に修正いたします。

下半期の利益面につきましては、売上高の減少に伴い、売上総利益が計画を大きく下回ることから、販売費及び一般管理費は、予算執行の抑制と経費削減を推し進めて計画より削減を図るものの、下半期の営業利益は計画よりも 85 百万円程度下回る見込みとなりました。

この結果、第 2 四半期累計期間の減少差異とあわせて、通期の営業利益は、前回発表予想より 112 百万円減少する見通しとなりました。

このため、通期の営業利益予想を 56 百万円、経常利益予想を 60 百万円、当期純利益予想を 30 百万円に修正いたします。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上